

2025年 児童青少年演劇キャラバン公演 子どもたちに演劇鑑賞体験の拡充を

ミュージカル

シンデレラ

美しい音楽とバレエで綴る幸せの物語



いつでも微笑みを忘れない美しい心を
子どもたちへ伝えます



●演出
源 紀

●脚本
北 麦生

●プロデューサー
相羽 源之助

●制作
川島 清和

主催

公益社団法人 日本児童青少年演劇協会

助成

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業《全国キャラバン》)
独立行政法人日本芸術文化振興会

制作 / **劇団東少**

協力 / (株)NEXst、(株)Am-bitionN、(株)ADDex

協賛 / (株)UCM、(株)グローバル・メディア・プラネット



文 化 庁

●音楽 塩谷 翔 ●振付 相羽 源氏 ●美術 高橋 あや子 ●照明 立川 直也 ●音響 木谷 晶代 ●衣装 山田 いずみ ●声楽担当 山田 麻由

お申し込み・お問い合わせ

2025年 **10月11日(土)** 14:30開演 (14:00開場)
市原市市民会館大ホール

千葉県市原市惣社1-1-1

【交通アクセス】JR内房線「五井駅」東口より、バス「国分寺台」行きに乗車、「市原市役所前」停留所下車徒歩1分

全席指定 **2,000円**

発売日 2025年9月1日(月)

※0歳から入場可。2歳以下ひざ上無料。ただし、座席使用の場合は有料。

劇団東少 東京都杉並区和泉2-3-22
☎03(6265)7070

インターネット予約 <https://www.tohshou.jp/>

E-Mail info@tohshou.jp

美しい音楽とバレエで綴る幸せの物語

ミュージカル シャルル・ペロー原作

シンデレラ

かいせつ

あらゆる童話の中で、シャルル・ペローの「シンデレラ」は、世界中の人々に愛され続けてきた作品といえるでしょう。又、世界中に何百と同じような話があると云われています。何がそれほど親しまれ、好まれてきたのか……やさしく真面目でいつも微笑みを忘れない素敵な娘が、継母や腹違いの姉さんたちから「灰かぶり」〈シンデレラという言葉は「灰かぶり」と言う意味なのです〉と呼ばれ、いじめられて泣いていましたが、舞踏会で優しい王子様に出会い結婚し、お姫様となり、いつまでも幸せに暮らしました。……このようなハッピーエンドの物語が、万人の心を捕らえて放さなかったのでしょうか。

「シンデレラ」は、グリム童話では非常に残酷なお話ですが、ペローのお話の「サンドリヨン」〈これも「灰かぶり」と云う意味のフランス語です〉では、魔法使いのおばあさんが登場し、古いかぼちゃを馬車に変え、12時になると魔法が解けてしまう物語で、一般的に知られているお話です。子どもから大人まで楽しめる感動的なミュージカルです。ぜひ、劇場で夢の世界をお楽しみ下さい。

あらすじ

むかしむかし、ある国に心のやさしい娘がいました。その娘が小さな頃、お母さんが亡くなり、やがて新しいお母さんが二人のお姉さんを連れてやって来ましたが、間もなくしてお父さんも亡くなってしまいました。すると、新しいお母さんとお姉さんたちは、娘を「シンデレラ（灰かぶりという意味）」と呼ぶようになり、シンデレラに家中の仕事をさせるなど、いじわるばかりしました。

ある日のこと、国の王様のお城で舞踏会が開かれることになりました。それは王子様のお妃様（結婚相手）を選ぶための舞踏会だったのです。シンデレラの家にも舞踏会の招待状が届きますが、「灰かぶりは行けないよ!」と、新しいお母さんとお姉さんたちはシンデレラを置いてお城に出かけました。

「私も素敵なお城に行ってみたい…」と、シンデレラは夢見ながら釜戸の前でホウキと踊りましたが、一人ぼっちが淋しくて泣いていました。すると、釜戸の中から魔法使いが現れたのです。「お前さんも舞踏会に行っておいで」と、魔法使いが杖を振ると、台所の古いかぼちゃが素敵な馬車に、ネズミが白馬に、猫が馱者（馬を操る人）に変わりました。もちろんシンデレラも素敵なドレス姿になり、足元にはガラスの靴がキラキラと輝いています。でも、この魔法も真夜中の十二時をすぎると解けてしまいます。「いいかいシンデレラ、十二時までに必ず家に帰ってくるんだよ…」

喜んで舞踏会へと向かったシンデレラ。王子様は美しいシンデレラに一目惚れをしてしまいます。時間を忘れるくらいにシンデレラと王子様はワルツを踊りますが、やがて十二時の鐘が鳴り始め、シンデレラは逃げるように王子様のもとを離れました。しかし、シンデレラはお城にガラスの靴を片方落としてしまいました。

シンデレラを探すため、王子様は大臣たちを連れて国中を回り、娘たちにガラスの靴を履かせることにしました。とうとうシンデレラの家にも王子様たちがやってきますが、お姉さんたちがガラスの靴に足を入れようとしても全く履けません。ですが、最後にシンデレラが履くとぴたりと合い、王子様はシンデレラを見つけたのです。

そして、シンデレラは王子様と結婚し、いつまでも幸せに暮らしました。



●劇団東少・受賞のかずかず……厚生省児童福祉文化賞・東京都児童劇団優秀賞・読売児童演劇賞・日本児童演劇脚本賞(創立1949年)

劇団東少の紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を超えた歴史ある児童演劇の専門劇団です。公演地は全国的であり、公演日数も年間100日を超え15万人以上の動員をしています。特に東京公演では、1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場で夏・冬ファミリー劇場は、定期公演になり、一般公演の少ない児童演劇界でホール専用の質の高いプランニングが、美しいステージを創り出しています。又、出演者は数百名のオーディションの中から選ばれた、演技・ダンス・歌に実力ある俳優とベテラン俳優が参加し、大人も子どもも感動できる作品を制作し、公演しています。

劇団東少の作品レパートリーは、心の優しさを描き、涙と笑いと感動のできる本格的な創作ファミリーミュージカルとして好評を博しております。